

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群
	対象学科・専攻	電気電子，情報，土木
国語 (Japanese)	担当教員	松田 信彦 (Matsuda, Nobuhiko)
	教員室	一般科目棟3階(内線 9042)
	E-Mail	n-matuda@kagoshima-ct.ac.jp
	教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位
週あたりの学習時間と回数	授業(100分)×30回	
〔本科目の目標〕現代文・古典に関わらず、作品を的確に理解し、鑑賞力・思考力・批判力を高め、自己の言語生活及び教養を豊かにする。また日本語の基礎事項および表現法を修得し、自分の考えを適切に表現する知識・技能を養うとともに、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。また特に日本語をとおして日本文化を考えることも目的とする。		
〔本科目の位置付け〕1年次の「国語」、2年次の「国語」における、現代文・古文・漢文・言語の既修事項を踏まえて、深い教養を身につけ、よりよい社会生活を送るために、国語の総合力をのばす科目である。4年次の「日本語表現」へと発展する。		
〔学習上の留意点〕本年度は、昨年度の教科書を引き続き使用し、さらなる作品理解に努めるだけでなく、総合的な国語力を高めるために、「パーフェクト演習」も使用して授業を進める。教科書のほか手持ちの国語便覧・国語辞典等を活用するとともに、日常生活の中での読書や新聞・テレビ・ラジオを視聴するときにも、常に自分の語彙力・表現力及び教養を豊かにする工夫をすること。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
【現代文】		
1. 評論 「虚ろなまなざし」	6	・段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで、筆者の意見を理解できる。 ・論理的な文章の構成を学び、論理の組み立て及び展開が理解できる。 ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにできる
2. 評論 「動物の言葉・人間の言葉」	4	・論理的な文章の構成を学び、論理の組み立て及び展開が理解できる。 ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにできる ・我々の生活になくはない言語について、その概念を学び、自分なりの考えを持つことができる。
3. 俳句 「俳句」	3	・俳句の基本的な修辞法(表現技法)を理解できる。 ・俳句に詠まれている内容をや、俳人の心情を理解できる。
---前期中間試験---	2	授業項目1～3について達成度を確認する。
4. 小説 「こころ」	10	・長編小説の主題を、場面の展開や人物の性格・心理の描写から読みとる力を養うことができる。 ・作品に描き出された人物像を通して、人生についての考えを深めることができる。 ・文体や修辞などの、表現上の特色をとらえることができる。 ・作者についての正しい知識を前提に、作品の成立した背景を十分に理解し、文学史上の位置づけを知ることができる。
5. 短歌 「短歌」	5	・短歌の基本的な修辞法(表現技法)を理解できる。 ・短歌に詠まれている内容をや、歌人の心情を理解できる。
---前期期末試験---		授業項目4, 5について達成度を確認する。
【古文】		
5. 日記更級日記 「源氏の五十余巻」	5	・日記を読み、作者の心情を読み取る。 ・作者の生き方やものの見方、感じ方を知る。
6. 物語 源氏物語 「桐壺」	7	・作者及び作品の文学史上の価値・位置づけを理解できる。 ・語彙・語法や敬語表現に注意して内容を理解できる。 ・登場人物の動きや心情を読み取り、物語のおもしろさを味わうことができる。
7. 漢字・語彙 パーフェクト演習 第一編	1	・基礎的な語彙力の強化をはかり、日本語を正しく読み書きできる。
---後期中間試験---	2	授業項目5～7について達成度を確認する。
8. 物語 源氏物語 「若紫」	8	・授業項目6に同じ
9. 評論 俳論 去来抄 「行く春を」「岩鼻や」	4	・俳論の文学史上の価値・位置づけを理解できる。 ・芭蕉とその門人たちの作品についての考え方を比較することにより、芭蕉の俳諧に対する考え方を理解することができる。
10. 漢字・語彙 パーフェクト演習 第一編	2	・授業項目7に同じ
---後期期末試験---		各授業項目8～10について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		試験において間違った部分を理解出来る。
〔教科書〕精選現代文 筑摩書房、高等学校古典(古文編) 三省堂 〔参考書・補助教材〕精選現代文準拠 課題ノート 筑摩書房、高等学校古典(古文編) 学習課題ノート 三省堂 図説国語 東京書籍、国語必携 パーフェクト演習 尚文出版 各種辞書		
〔成績評価の基準〕中間試験および期末試験成績(80%) + 提出物・小テスト等の平常点(20%) - 授業態度(最大20%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 1-a, 2-a		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		